

飛躍する

年 テラデータ・コーポレーション 行動規範

目次

誠実であること

リーダーからのメッセージ

規範の支持

規範に従わなければならないのは誰か
行動規範への当社のコミットメント
倫理的な意思決定のために、規範を使用すること
ガイダンスを求めると、違反を報告すること
違反の疑いに関する報告を調査すること
報復の禁止
マネジャーの特別な責任

お互いへの説明責任

多様性、公平性および一体性
差別、ハラスメント、いじめの禁止
利害対立の回避
職場安全衛生
会社の資産の利用

一般の人々へのリーチアウト

正確な記録を残すこと
ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム
インサイダー取引
外部企業とのコミュニケーション
政治的な貢献と慈善活動

当社のコミットメントを掲げること

贈収賄・汚職に対するゼロ・トランス(完全非容認)
輸出・輸入コンプライアンス
贈り物と接待
環境安全衛生コンプライアンス
社会的責任と人権

イノベーションの追求

機密情報
第三者知的財産権
テラデータ認定プロフェッショナルプログラム
プライバシーとデータの保護
AI(人工知能)

業界のトップにのぼること

公正に競う
業界団体や展示会に参加する
顧客と公正な関係を保つ
市場支配力を乱用しない
ビジネス・インテリジェンス

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

テラデータは、信頼できる情報を活用すれば人々は飛躍できると理解しています。信頼はチャンスをつかむ機会を増やし、イノベーションとパートナーシップへの道を切り開きます。私たちは、力を合わせて顧客とこの世界を発展させることができます。

テラデータ行動規範(「規範」とも呼ばれる)は、行動基準をまとめたものであり、テラデータ・ピープル(テラデータ関係者)およびチームの全員に要求される、行動規範の基準であり、私たちが飛躍させてくれるものです。この規範は、私たちの仕事に関する法的あるいは倫理的な責任に対応する方法を理解するのに役立つものです。また、テラデータが誰もが従うことのできる明確で一貫したルールを実現するのに役立つものでもあります。

規範はごく一般的な概要にすぎません。数多くのポリシーが、規範に限らずテラデータの広報ならどこでも参照できます。これらのポリシーでは、要求事項がより詳しく定められています。違反の疑いのあるものの報告についても説明しています。行動を取る前に、ぜひ質問をして、当社の規範やポリシー、法的要件に従うことに関

する明白な回答を得るようにしてください。規範は、顧客と市場を重視すること、業務遂行における敏捷性、お互いへの説明責任という当社の基本原則に沿って適用する必要があります。

当社の規範は全テラデータ・ピープルおよび組織に国際的に適用されます。

当文書では、「テラデータ」はテラデータ・コーポレーションおよびそのすべての世界中の子会社、関連会社、企業組織、チーム、業務を指します。テラデータの「社員」とは、テラデータの従業員、契約社員、下請業者、派遣社員、代理業者、代表者、役員、取締役をすべて含みます。

テラデータの「ビジネスパートナー」とは、テラデータのサプライヤー、ベンダー、再販業者、流通業者、提携先、サービスプロバイダー、その他のテラデータが共に事業を行っているあるいは行う予定の第三者をすべて含みます。テラデータ・「ピープル」とは、世界中のテラデータのすべての「社員」およびテラデータのすべての「ビジネスパートナー」のことです。

テラデータグローバルポリシー

テラデータの従業員は、当社のグローバルポリシーウェブサイト(<https://teradata.sharepoint.com/teams/policy>)にアクセスすることができ、そこには規範で言及されている各ポリシーが掲載されています。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

誠実であること

テラデータの卓越した倫理性に対するコミットメント

私たちは、AIによる驚異的な技術変革の時代に生きています。テラデータは、データ分析と信頼される AI (Trusted AI) のための最もオープンなコネクテッドプラットフォームとして、企業が AI 革命の波に乗り、データの調和と迅速なイノベーションを実現できるようにします。また、一企業として、ビジネス倫理を実践するという揺るぎない決意をもって、成長とイノベーションに邁進し続けます。

当社の強固な倫理文化は、日々の選択を通じて組織全体で示されてきた優れたビジネス慣行の結果です。当社が戦略を実行し続けるにあたり、行動規範は計画、プロセス、意思決定の指針となり、お互いへの説明責任、業務遂行の俊敏性、顧客と市場を重視することという当社の基本原則の延長線上にあるものです。

テラデータでは、誠実であることが全員に課せられます。当社の取締役会および上層部は、常に倫理と誠実さを優先し、従業員は当社の高い行動基準に対する責任があります。私たちは、いかなるコンプライアンス違反に対しても迅速かつ断固たる対応をとります。

従業員が団結して取り組むことで、テラデータは誠実であるという評判を得て、長年にわたり「世界で最も倫理的な企業のひとつ」として認められています。私たちが成功への道を歩み続けるために、ひとりひとりが、また私たちのパートナーのコミュニティ、サプライヤーがテラデータ関連のビジネスにおいて、当社の行動規範と基本原則を遵守することに個人的に取り組むことを求めます。倫理的な判断をする際には、行動規範を参考にしてください。お読みになって、自分の仕事にどのように適用されるかを理解し、頻繁に参照してください。

テラデータが信頼、尊敬、目的の共有を重視する組織として成長し続けるために、倫理、コンプライアンス、および誠実さをテラデータのすべての活動の中心に据えていただければ幸いです。

Steve McMillan
社長兼 CEO
テラデータ・コーポレーション

規範の支持

当社の規範は、テラデータが社員、パートナー、そしてより幅広いチームに期待するものを示しています。私たちは、正しい行いをするのを信頼されています。私たちは、行動する前に質問をし答えを得ることによって、そして不正行為に対して立ち向かうことによって、信頼を得ます。スマートで正しい形で事業を行う、顧客献身型の情熱的な企業であるという、会社の評判を守ることによって、信頼を得るのです。そして信頼を得ることで、私たちは、当社と、当社の株主、ビジネスパートナー、コミュニティ、顧客にとって明るい未来を構築し続けるのです。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

もし何かが悪く感じるとき、悪く思えるとき、悪く見るとき、悪く聞こえるとき、私たちは質問をせねばなりません。もし当社の規範とポリシーが懸念にはっきりと対処していないときには、別のソースで指針を探さねばなりません。私たちは正しい行いをするので、継続的に信頼を得て、それを確かなものにしていかねばなりません。

規範に従わなければならないのは誰か

テラデータ規範は世界中の全テラデータチームに適用されます。私たちはまた、当社のビジネスパートナーにも、テラデータと関わる事業活動を行う際には必ず当社の行動基準を遵守してもらいたいと考えています。

テラデータの子会社、関連会社、企業組織、業務、チームは、当社の規範を補完する付加的な規範の実施を定めてもよいものとします。補完的な規範があなたに適用される場合、常に厳しいほうの規範に従ってください。そうすれば当社の規範とチーム(あるいはあなたの役割における)特定の基準の両方を遵守することになります。

当社の規範を日常生活に組み込むことで、当社が正しい形で事業を行うことを確実にすることになります。当社の規範に従って成立する原則や基準に反して行動する者は誰でも、地域の条例に従って、解雇を含むそれ以下の懲戒の対象となります。

行動規範への当社のコミットメント

私たちは倫理的に行動し、規範とポリシーに従います。

私たちは基本原則を守る指針として規範を使用します。

私たちはガイダンスを求め、懸念と違反を報告します。

私たちはすべての人に敬意を持って接します。

私たちは法を遵守します。

私たちは公正な競争を行います。

私たちは利害の対立を回避します。

私たちは資産を保護します。

私たちはデータと個人情報を保護します。

私たちは正確な記録を残します。

私たちは一貫して規範とポリシーを適用します。

私たちは誠意を持って懸念を表明した者に対する報復を禁止します。

私たちは、常に正しい行いをいたします。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

倫理的な意思決定のために、規範を使用すること

当社の規範が、テラデータが事業をどのように実施するかという基準を作ります。しかしながら、当社の規範とポリシーは、倫理的な行為のためのガイドでしかありません。すべての起こりうる状況やテラデータの人員が直面するかもしれない問題のひとつひとつを網羅することはできません。もしあなたが正しい行いについて迷いがある場合には、質問しなくてはなりません。何が正しいか迷うときには、行動を起こす前に答えを得るよう、倫理が私たちが動かしてくれるのです。

特殊な場合には、当社の規範あるいはポリシーを個人的な状況により適用しないあるいは変更することが適切になることが考えられます。あるひとつの事柄を行うことが違反となるが、別の事柄を行う（あるいは何もしない）ことも違反となる、もしくは規定が作成されたのちに法的条件が変更になったということもあります。このような倫理的ジレンマや矛盾が生じていると思われる状況に遭遇した場合は、直ちに問題を提起する必要があります。下記の「ガイダンスを求めると、違反を報告すること」を参照してください。重要なのは、もしそういったジレンマや迷いに直面した時には、行動する前に指示を受けるということです。

当社のポリシーに明確に規定されている許可された逸脱を除き、規範およびポリシーの免除にはすべて、テラデータの法務組織の書面による事前の承認が必要となります。テラデータ取締役会による監査委員会のみが、テラデータの役員あるいは取締役会メンバーによる当社規範の遵守を免除することができます。ただし、非常に特殊な状況においてのみ、適切な情報開示と透明性の要件に準拠している場合に限りです。私たちは、同じ行動基準を全員に適用しています。

また、企業の役員や取締役会メンバーに関してはさらに高い水準や期待を持っています。

ガイダンスを求めると、違反を報告すること

当社の規範に違反することは重大な問題であり、当社の取引関係や評判を著しく傷つける恐れがあります。疑問や懸念がある場合、あるいは当社の規範やポリシーあるいは法律に違反しているかもしれないという行動に気が付いた場合には、あなたには率直に話す義務があります。誠意をもって懸念を報告すること（すなわち起こりうる問題について正直で徹底的な説明をするということ）は、テラデータが職場の問題が深刻化する前に回避または解決するのに役立ちます。

法的あるいは倫理的違反を疑った場合には、以下のいずれかの担当者へ知らせてください。

直属のマネジャー（マネジャーに懸念を伝えることに抵抗がない場合）

上位レベルのマネジャー

テラデータ人事組織の担当者

テラデータ倫理・コンプライアンスオフィス（メールアドレスは E&C@Teradata.com）

テラデータ倫理ヘルプライン（オンラインアドレス：www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp、電話：1-866-455-0993）
テラデータ倫理ヘルプラインの電話番号はほとんどのテラデータ社員 ID バッジに印刷されているため、いつでもご覧いただけます。テラデータ倫理ヘルプラインでは、法律で認められている場合、匿名での報告が可能です。

テラデータ法務組織のメンバー

問題となっている分野の、テラデータ内容領域専門家チームのメンバー（例えば、疑われる盗難問題についての会社のセキュリティ、疑われる不正経理についての内部監査）

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

無記名での報告も選択できますが、その場合はあなたの懸念事項の具体的な詳細を追及するのが難しくなるかもしれません。国によっては、地域の条例があなたに身元確認を要求する場合があります。あなたの報告がどちらに当てはまるかは倫理・コンプライアンスオフィスあるいは倫理ヘルプラインがお知らせします。私たちは上記の担当者に連絡する際には名乗るようお勧めします。そうすればテラデータが問題調査を徹底的に行えるからです。もしあなたが名前を告げるか直接出向く場合には、テラデータは、あなたの名前の共有は必要最低限に抑えるなど、あなたの身元を守るため、適用される法律が許す限り最大限の処置を取ります。

違反の疑いに関する報告を調査すること

テラデータは、業務上の懸念が表明された場合、真摯に対応します。個人情報について慎重に取り扱い、不正行為が疑われるすべての報告を徹底的に調査・分析します。テラデータでは勤続年数による功績に関係なく、規範、ポリシー、法令に違反した者は、現地の法律で禁止されていない限り、解雇などのしかるべき懲戒処分の対象となります。**調査の対応方法についてはこちらを参照してください。**

調査において助力を求められた場合には、すべての質問に正直に答え、完全に協力しなければなりません。倫理的あるいは法的違反に対する虚言、隠ぺい、ごまかしは、当社規範を著しく違反することになり、解雇につながる可能性があります。

ここに列挙したどの担当者へもあなたの懸念を報告したくない場合には、文書をテラデータの国際本部の会社秘書役に渡すことにより、テラデータの取締役会による監査委員会に直接報告することもできます。Audit Committee of the Board of Directors, Teradata Corporation, Attention: Corporate Secretary, 17095 Via Del Campo, San Diego, California (USA) 92127

報復の禁止

全テラデータ・ピープルは、自分の職やテラデータとの仕事上の関係がマイナスの影響を受けることを恐れず、法律、当社の規範、テラデータのポリシーに関する違反の疑いを報告する権限があると感じている必要があります。テラデータは、「何かに気付いたら、何らかの声を上げる」という環境を育んでいます。これを促進するために、テラデータは、倫理やコンプライアンスの調査や監査に参加する者と同様に、誠意をもって、疑問、懸念の表明、あるいは報告を行う者に対するいかなる形の報復も厳しく禁じています。

報復とは、報告したり、調査に参加したり、質問したことにより、経験する可能性があるあらゆるマイナスの結果を指します。これには、不当に降格されたり、不当に否定的な業績評価を受けたり、不当に賞与や給与が減額されることなどが含まれます。また、重要なプロジェクトや会議から意図的にはずされるなど、より微妙な行為も含まれます。報復を受けたり目撃したと思われる場合は、上記のいずれかの方法で連絡してください。報復行為を報告することで、職場における倫理と誠実さを態度で明確にし、テラデータを働きやすい職場にすることができます。

誠意とは、正しくないとならないという意味ではなく、あなたが持ち、真実であると信じる情報のすべてを提供するという意味です。悪意とは、誰か他の者を標的にしたり、報復したりする意図で行われるもので、間違っていると分かったうえで情報を提供することです。当社は、報復を容認しないのと同様に、間違っていると分かっているのに悪意で提出された情報も容認しません。

マネジャーの特別な責任

他の人々を監督するテラデータの社員は追加的な義務や責任を負っています。マネジャーは自らの言葉をもって、決定、行動、高い水準の誠実さに対する個人的なコミットメントを表さねばなりません。テラデータのマネジャーとして、あなたには以下のことが求められています。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

規範およびテラデータのポリシーを常に遵守することによって、自ら実例を示す

話し合い、コミュニケーション、トレーニングにより、あなたのチームの社員とあなたのビジネスパートナーが当社の規範と関連するポリシーを確実に理解しているようにする

あなたのチームの社員をより大きな責任のあるポジションに昇進させる前に、彼らが当社の規範に従っており、テラデータの基本原則を体現しているかどうかよく考える

行動や行為において良い手本となる社員を見分け、報いる

あなたのチームあるいは職場で不正が起きないように気を配り、必要となればテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに報告する

テラデータ・ピープルが倫理、コンプライアンス、ポリシーに関する疑問や懸念を表明しやすいような環境を作る

誠意をもって懸念を表明した者に対して決して処罰を与えたり認めたりしてはならない

マネジャーが違反に気付いていながら、あるいは気付いていたはずなのにそれに対応あるいは報告しない場合には、懲戒の対象となります。テラデータのマネジャーとして、あなたには誠実であることがテラデータにおける最優先事項だという姿勢を示す義務があるということを覚えておいてください。

お互いへの説明責任

私たちは、すべての社員、顧客、ビジネスパートナーに対する尊敬を促進する労働環境をテラデータで提供したいと考えています。それは私たちが事業を進めるコミュニティーの多様性を含め、反映するものです。私たちは、差別、ハラスメント、いじめ、報復を禁止するポリシーによってこの表明を後押しします。また、反人種差別企業としての立場を表明し、組織内で不用意に人種差別やその他の不平等を永続させるようなシステム、価値観、行動、プロセスを消滅させることを支持しています。

多様性、公平性および一体性

グローバルな企業として、テラデータは人々(そして彼らの持つ文化、考え方、教育、背景)の多様性が革新を後押しし、顧客に届ける製品やサービスを強化することを理解しています。安全で、協力的で、一体的な環境を構築することで、テラデータにいるすべての人が自分の可能性を最大限に発揮することができます。

テラデータは事業を行う国の法令を遵守します。しかしながら、当社の多様性、公平性、および一体性への傾倒は法の遵守をも超えて強まっています。テラデータは異なる文化や考え方が高く評価され、支持され、奨励される職場の構築に努めています。テラデータは、自社のポリシー、システム、および労働条件を定期的に調査し、機会均等と一体的な行動を徹底しています。また、テラデータは、文化、一体的なリーダーシップ、偏見の管理、すべての人への公平な待遇などに関する学習機会をすべての従業員に提供しています。テラデータのインクルージョンコミュニティ(Inclusion Communities)は、さまざまなバックグラウンドを持つ従業員のネットワーク作りやメンタリングをサポートします。また、テラデータは、多様性を受け入れている企業を特定し、そこから供給することで、サプライヤーの多様性を調達プロセスに組み込むことを目指しています。私たちの仕事はまだ終わっていません。テラデータは、この分野での継続的な成長と成果を約束します。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

差別、ハラスメント、いじめの禁止

テラデータでは、差別、ハラスメント、いじめのない職場の実現に真摯に取り組んでいます。私たちは、人種差別を含むあらゆる形態の差別と戦い、これを廃除することを約束します。人種差別とは、直接的または間接的に、特定の人種または民族グループの一員であることを理由に、個人を疎外し、排除し、差別する行為、行動、または言葉と定義されます。

多様性、公平性、および包括性に対する私たちの誓い

- 私たちは、全従業員に対して、不寛容な行為、不当な扱い、無礼な行為、意識的または無意識的な偏見を受けたり目撃したりしたときには、声を上げるように奨励します。
- 私たちは、「私たちのとる行動や発する言葉に、「包括性」が反映されているか」自問します。
- 私たちは、意味があり、複雑で、時には難しい会話を同僚と交わします。
- 私たちは、全従業員のための包括的な環境を醸成できるように取り組みます。私たちは、私たちと異なる見解も無視せず、私たちと異なる視点やコミュニケーションのスタイルを尊重します。
- 私たちが行動をとったり言葉を発するときは、包括性または私たちの包括性への誓いを必ず反映させます。
- 私たちは、全従業員に、自分たちの快適なゾーンから抜け出し、他者の経験や視点について学ぶように促します。

Teradataは、人種差別を受け入れない企業ですさらに、私たちは人種差別を許容しません。体系的な人種差別を永続させるあらゆるシステム、価値観、行動、組織的プロセスを特定し撲滅します。これを実現するために、以下を実施します。

- 人種差別を許容しない企業文化の定着に向け積極的に取り組みます。
- 人種差別を認識し向き合い、差別を受けた従業員にはサポートを提供します。
- 反人種差別に向けた行動や取り組みに対する全従業員の責任を含めた、多様性、公平性、包括性の重要性について継続的に学んでいきます。

これらの行為や行動を心がけることで、私たちは、全従業員が一体となって、従業員が安心して働ける、差別や人種差別のない環境作りに取り組みます。

テラデータは雇用関連の意思決定あるいはビジネスパートナーの選定の意思決定を含むあらゆる意思決定における不法差別を禁じています。当社では、採用、選択、業績評価、昇進は実績に基づいて行います。人種、肌の色、宗教、出身国、性、年齢、障害、性指向、妊娠、性同一性、性表現、配偶関係、軍事または退役軍人、その他の法的に保護された特性などによる、守られるべき性質に基づいた差別は決して行いません。私たちは、これらの守られるべき性質またはその他の守られるべき性質に基づく差別につながる行為を容認しません。また、意図しない、あるいは不注意な差別につながる可能性のある慣行や手続きを排除することにも取り組んでいます。

互いに尊敬し合うには、職場環境からあらゆる形の不法なハラスメントやいじめが撤廃されることも必要です。ハラスメントとは、守られるべき性質に基づいて、他の人に対して望ましくない、または攻撃的な行為を行うことです。(1) そうした行為に屈服することはいずれも、明示的および暗黙的な雇用条件とある、または、雇用の決定のための基盤として使用される。あるいは、(2) 行為は、あまりに深刻であったり、また広がっているため、それが威圧的で、敵意に満ちた、あるいは攻

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

撃的な職場環境を形成している。ハラスメントは、セクシャルにもノンセクシャルにもなりうるものです。セクシャルハラスメントは迷惑な性的アプローチ、性的接待の要求、肉体的または言葉のみによるその他の性的な性質の行為、および性的な性質を持つ職場での行動を含みます。

いじめの法的定義はありませんが、個人またはグループによる攻撃的、威圧的、悪意のある、侮辱的な行為、または誰かを傷つけたり、屈辱を与えたり、身体的または精神的な危害を加える権力の乱用や悪用といえます。いじめは、一定の行動パターンの場合もあれば、1回限りの出来事の場合もあり、対面、ソーシャルメディア、電子メールや電話、職場やその他の仕事に関連した状況で起こる場合もあり、必ずしも明白な行為であったり、他の人が気付く行為であるとは限りません。

どのような形であれ、ハラスメントやいじめは、仕事のパフォーマンスの支障となったり、あるいは雇用状況に悪影響を及ぼしたりするものです。テラデータは、会社の敷地内で起こったか、会社から離れたところ、あるいは業務時間後のイベント(休日に実施したパーティー、チームをまとめるためのイベント、祝い事、ビジネスカンファレンス、出張、社内のコミュニケーションツールや社内外のオンラインソーシャルメディアプラットフォーム)で起こったかに関わらず、ハラスメントやいじめを容認しません。

テラデータでは、人種差別やセクシャルハラスメントなど、職場における差別、ハラスメント、いじめの可能性に関する報告や懸念を非常に深刻に受け止めています。差別、ハラスメント、いじめを受けていると思われる場合、あるいは差別、ハラスメント、いじめに対する当社のポリシーに違反する状況に気付いた場合は、当社の規範に概説してある報告手段で、即座に報告してください。不正行為の可能性に関する苦情を受けたり、差別、ハラスメント、いじめの疑いがある行為を目撃したマネジャーは、その苦情や不正行為を直ちにテラデータの人事組織またはテラデータ倫理・コンプライアンスオフィスの担当者に報告し、調査を実施して適切な是正措置を講じられるようにする必要があります。テラデータは、深刻な問題に発展する前に、早期に懸念事項を特定、調査、解決できる機会を歓迎します。テラデータは、合理的な信念に基づいて誠意をもって差別、ハラスメント、いじめに関する報告を行う者に対する報復を厳しく禁じています。

セクシャルハラスメントへの警戒

性的行為、性的魅力、性的関心、性的指向、性自認、年齢、人種、出身国、宗教、障害、妊娠、その他法的に守られるべき特性に関する、攻撃的、不適切、屈辱的、または不愉快なコメント、冗談や画像を(会社のリソースを利用した電子メールやその他の電子的コミュニケーションなどで)職場でやり取りすることは禁止されています。

人種差別に対するゼロ・トレランス

人種差別的な冗談を言ったり、人種差別的な表現や記号を使ったり、特定の民族グループが他のグループよりも本質的に優れているという考えを反映した行動を示したり、人種的なプロファイリングを行ったりすることは、テラデータが禁止する行為の例です。

利害対立の回避

私たちは皆、テラデータの成功に献身しています。利害の対立は、私たちの成功を妨げます。対立は、私たちの個人的な、家族の、あるいは経済的な利益が、テラデータにとって最大限の利益となるよう客観的な職務決定を下す能力を妨げるとき(あるいは単に妨げるように思われたときですら)に現れる場合があります。私たちは皆、テラデータへの忠誠と外部の利益との間で引き裂かれる思いをするような状況は避けねばなりません。

以下によくある対立状況の例を挙げます。もしあなたに実際に利害の対立がある、もしくは将来的にそうなりそうだと思う場合、即座に直属のマネジャーに打ち明けてください。個々の対立状況の可能性自体は規範違反のレベルには至らないかもしれませんが、対立の報告を怠ることは、違反に当たる可能性があります。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

家族や友人とのビジネスを行うこと

利害の対立は、あなた(あるいはあなたの配偶、親戚、親しい友人)がある企業と個人的な利害関係にあり、その企業がテラデータに品物やサービスを供給しているあるいは供給したいと思っている場合、またはその企業がテラデータの顧客あるいは潜在顧客である場合、またはテラデータの競合企業である場合に生じる可能性があります。そのような状況にあると気付いた場合、あなたはその企業を含む選定プロセスや入札プロセス、交渉の決定に自分の立場を利用してはなりません。業者の選定に直接関わっていて、業者や潜在的な業者を含むときは、マネジャーに即座に伝え、あなたを決定プロセスから除いてもらわねばなりません。あなたが関係を持つ業者が選定された場合には、提供された品物やサービスの品質を評価する際にも関わらないようにしてください。

競合企業に親戚や親しい友人がいる場合は、マネジャーにその旨を伝え、テラデータの機密情報や情報システムにアクセスを許すことを防ぐため、また当社の競合・独占禁止法の遵守やインサイダー取引規範の規定やポリシーによって保護されている事柄が彼らに伝わることを防ぐため、特別な予防措置を取ってください。

販売側の代表者と購入側の代表者との間の恋愛関係もまた利害対立の問題を生じさせるので、それぞれの企業と関連する取引が完了する前に開示し対処せねばなりません。

家族の雇用に関するテラデータのポリシー(「Corporate Management Policy (「CMP」) 201)では、一般的に家族や恋愛関係にある者を雇用、管理、あるいは監督することを禁じています。そういった対立を抱えている場合、あるいは対立に気が付いた場合は、関与するふたりの間の雇用、管理あるいは監督関係を変更または何らかの形で対処できるよう、即座に直属のマネジャーとテラデータの人事組織に報告しなければなりません。

副業と投資

テラデータ以外で雇用されること、あるいはテラデータの競合企業と重要な利害関係を有することも、テラデータの社員に利害対立をもたらす可能性があります。テラデータのフルタイムの従業員である場合、テラデータにおける適切な職務遂行を妨げるテラデータ以外の仕事をしてはなりません。このことは、あなたのテラデータの勤務時間内に外部の仕事をする、あるいはテラデータの資産、設備、ネットワーク、情報、その他のリソースをテラデータの仕事以外の用途に利用することを含みます。また、他の営利目的企業あるいは株式公開企業の取締役会に就任することも、利害対立の問題を引き起こす恐れがあります。テラデータの社員はそうした役割への打診があったときや競合他社の主要な株式を保有することに関する疑問を必ずマネジャーやテラデータの法務組織に報告してください。私たちはそのポジションの範囲、期待されること、要求されること、および意図する株式保有の範囲について話し合い、一般的な方法で状況に対応することができます。

企業の機会

状況によっては、テラデータでのあなたのポジションを通して、テラデータにとって関心のあるような買い付けや投資の機会に気が付くことがあるかもしれません。あなたはテラデータがその機会を評価できるようにするため、その機会をマネジャーに即座に報告せねばなりません。テラデータがその機会を追及しないことに決めた場合には、今度は自分のためにあなたが行動を起こしたり第三者に話をしたりする前に、マネジャーとテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに書面による承認を請求し、これをもらわねばなりません。

利害対立の扱い

テラデータは利害対立が悪意のないところからも生じ、何の兆候もなかったところに対立あるいは利害対立のように見えるものを生む状況の変化が生じうろということを認識しています。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

この件に関して頭に留め置くべき重要なことは、潜在的な利害対立に気が付いた時点ですぐにマネジャーにそれを開示しなければならないということです。マネジャーは、テラデータの人事組織、法務組織やテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスと協力して、解決に向け何を成すべきかを決定するか、潜在的な利害の対立が現実のものにならないように、あなたが適切な予防措置を講じることを許可し、あなたが安心して予防措置を実行できるようにします。

利害の対立ガイダンス

質問: あなたの叔父はある種のサービスを提供する会社を所有・経営しており、同じ種のサービスのマーケットにテラデータが関わっていることにあなたは気が付きました。その種のサービスをあなたの叔父の会社に調達しているテラデータの担当者にこの話をすることはできますか？

解答: できます。しかし当社の利害の対立ポリシーの元では、その話をする際はあなたと叔父の関係を開示せねばなりません。また、あなたはそのサービスの供給者を選定したり、あなたの叔父の会社からサービスが調達されている場合はそのサービスを交渉、実施、管理したり、サービスのクオリティを評価したり、あなたの叔父の会社への支払いを承認したりするための意思決定プロセスには関与してはなりません。開示性や透明性、そして関連する意思決定や管理、支払いなどの流れから身を引くことが、こうした状況下でも規範に遵守したままでいるためには重要です。

職場安全衛生

テラデータは、各社員とビジネスパートナーに安全で健康的な職場環境を提供することに努めるものとします。適切な衛生、安全、環境保護のための対策を取らずに行う活動はひとつもありません。これは、オフィスと仮想職場に適用されます。

テラデータはまた、薬物のない職場づくりにもコミットしています。これは、私たちは皆、職務を遂行する上で薬物やアルコールの影響を受けてはならないということです。会社の敷地内あるいは会社の職務中における違法薬物の利用、所持、流通、販売あるいは処方薬または合法薬物の不適切な利用や乱用は厳しく禁止されています。アルコールは、管理職が承認している、ある種の会社主催のイベントでは、節度を持って、しかし、そのイベントのガイドラインを守っている場合に限り消費される場合があるが、但しそれは、アルコールを摂取する関係者が、自分自身のアルコール摂取や、アルコール摂取に関連した行為について、完全に責任や説明責任を受け容れる場合に限り、また、法律的に合法でない間は、関係者が乗り物、自動車を操作しない場合に限りです。

職場における薬物やアルコール乱用に関する当社ポリシーの違反は容認されません。テラデータは薬物やアルコールの乱用あるいは中毒と闘う社員を支援するための社員支援プログラムを実施しています。該当する社員はぜひこのプログラムを利用してください。これらのサービスに関する情報は、テラデータ従業員支援プログラムで入手可能です。

テラデータの社員は互いに敬意と礼儀をもって接することが求められています。テラデータは暴力行為あるいは脅しを容認しません。実際の暴力行為や脅しを職場で見かけた場合は、マネジャー、ファシリティ・マネジャー、人事組織の担当者に即座に報告してください。

会社の資産の利用

テラデータの資産(情報、施設、ネットワーク、設備、材料、財産、技術、評判など)は、私たちのチーム全体による激務、功績、献身によって得られたものです。私たち全員がテラデータの成功の継続に関心があり、私たち全員がその成功に責任を負っています。私たちは自分たちの資産および関連データと個人情報に窃盗、損害、損失、誤用から守り、それがテラデータやテラデータが承認した目的のみにしか使われないようにせねばなりません。

テラデータは、当社の社員がテラデータの資産のわずかな部分を時に個人的に利用するのを承認します。しかしながら、個人的な目的のためのテラデータの時間、資産、あるいは資源の習慣的あるいは大規模な利用は認めません。個人的

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

に、あるいはテラデータが承認していないコミュニティのため、または慈善目的でテラデータの資源を利用する際、最小限の規模を超える場合にはマネジャーによる事前承認を受けねばなりません。

テラデータの資産を個人的に利用してよい金額、種別、または内容が適切かどうか迷いがある場合は、マネジャーと話し合い、事前に承認を取ってください。許可を得るまでは、そうした目的でテラデータの資産を利用することは控えてください。

テラデータの規範は、テラデータの資産の業務上の利用、許可を受けた個人的な利用の両方に適用されます。つまり、ポルノ画像などへのアクセス、閲覧、保存、送信や、差別、ハラスメント、いじめ、報復に関わる行為、あるいは暴力による脅迫、非合法のギャンブル、売春、その他の違法行為など、当社の規範やポリシーに違反するいかなることに、いつ何時もテラデータの資産を利用してはなりません。違反は解雇を含むそれ以下の懲戒につながります。

一般の人々へのリーチアウト

テラデータは、競争の激しい市場で操業しています。私たちは、お客様のニーズに応え、競争についていくため、常にイノベーションと改良を私たちの製品やソリューションで行わなければなりません。同様に大切なのは、私たちのブランドと原則の一貫性を示すため、私たちが高い行動基準を保ち、一般の人々とのやり取りで、いつも真正であることと真実であるようにすることです。

正確な記録を残すこと

私たち全員が、テラデータの帳簿や記録が完全で正確であることを保証する責任を負っています。主張、接待、贈り物の経費の払い戻し請求や支払、調達、請負業者や外注先の注文書、契約、作業明細書、エントリーと支払い、プロジェクトの財務と報告情報を含む、財務上の記載や記録の全ては、公正かつ正確に、真正の、性質・量・関連する実際の日付・関係性のあるパーティー・支出/取引またはプロジェクトの目的を反映していなければなりません

このことは、買収資金・賄賂、記録されていないプールされた金銭、あるいは権限付与されていない資産/権限付与されていない賄賂・キックバック・旅費・接待・贈り物・親切・個人的なアイテム・請求書の支払・割引・リベート・調達・請負業者・外注先・契約・仕事の指示・その他の不適切な目的、を定めたり使用してはならない、ということの意味しています。経費の報告、発注書、請求書、プロジェクト報告の方法/ツール、その他のテラデータの簿記や記録に、虚偽あるいは人造の記載をしてはなりません。

私たちは事業にとって最高の、もっとも効果的な決定を行うために、正確な情報を必要とします。顧客、社員、ビジネスパートナー、株主、政府当局に対する義務を果たし、責任を持つために、全事業に関して、完全で、公正で、正確で、時宜を得た帳簿や記録を残さねばなりません。事務処理正確な記録は、テラデータが財務上、条例上、また報告の義務を遂行するのに重要です。

全テラデータ社員はテラデータの帳簿や記録が正確であることを確かめる必要があります。私たちは、報告内容(労働時間、経費、その他すべての事業にかかわる活動の記録を含む)やすべての領収書やその他の関係書類および日付と情報が、改ざんされたもの、誤解を招くもの、偽造されたものではないことを保証する必要があります。記録や報告のファイリングは、遅れず、正確にせねばなりません。関連するポリシーを確認した後、それでも特定の支出が、正当な払い戻し/支払い可能な経費なのか、あるいは当社のポリシーで許可されているものなのか確信が持てない場合には、行動の前、払い戻し/支払いの請求を行う前に、直属のマネジャーあるいは社内の内容領域専門家(SME)に質問する必要があります。社員は責任を負っており、不当な報告あるいは払い戻し/支払いの請求を行った場合は懲戒の対象となります。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

完全で適切な基礎となる文書がない場合は、オーダー認識や収益認識を含む帳簿の記載、取引や支払の処理を決して行ってはいけません。帳簿、記録、オーダー、契約、承認、インボイス、受理など収益認識および正当な会計処理と関連のある書類の改ざん、偽造、日付のごまかしは常に誤りであり容認されません。私たちは皆、会社の帳簿、記録、経理や法令による条件の遵守の正確さを確認する取り組みにおいて、財務管理の職員、収益認識保証の職員、内部あるいは外部の監査役に完全に協力せねばなりません。審査、監査、調査などへの協力を拒む、誤解を招くような情報の提供、あるいは積極的な妨害を行う場合は懲戒を受けます。

会社の記録が作成された後に適切に保持していくことも重要です。テラデータでは、記録保管制を導入しています。必要とされる期間記録を保持し、必要がなくなった際に破棄する方法について記述のあるポリシー（**企業財務および会計ポリシー（CFAP）111**）。どの記録をどれだけの期間保持する必要があるのかが不明な場合は、記録保持ポリシーを参照し、あなたの担当分野、あるいはあなたに対応している文書のタイプが記録保持スケジュールに当てはまっているかを確認してください。

また、実際の法的手続きあるいは行政調査が行われるとき、またはその恐れがあるときには、文書や記録に訴訟ホールドがかかる可能性があることを念頭に置いてください。法的手続きにおいては、テラデータは、関連した文書や記録を守る、あるいは作成することができないというリスクを負う事態になるのです。このような場合には、テラデータの法務組織より連絡があります。訴訟ホールドがあなた、もしくはあなたが持っているあるいは管理する文書に及んだ場合、法的効力のある指示に従ってすべての関連する記録を保持せねばなりません。

不正行為への警戒

はっきりとした正当な事業目的がないのに、おかしな時間にオフィスにいる。

はっきりとした正当な事業目的がないのに、会社の記録あるいは自分の仕事の担当とは関連のない会社の記録に慎重にアクセスしたりコピーしたりしている。

ライフスタイルが収入以上の暮らしぶりを反映している。

私的な面の安定性に欠ける。家庭や職場で精神的苦痛を経験している。家内企業による過度の、あるいは理不尽な経済的なあるいはライフスタイルにおける期待に遭っている。

常に体制を打破しようとしたり、製造プロセスの操作や不正アクセスをしようとしたり、越権行為をしようとしている。

不必要な仲介者/請負業者が利用されている；無資格、不適格、十分に検証されていない、仲介者/請負業者が利用されている；開示されている、仲介者や請負業者との個人的な関係やアレンジメントを持っている関係者。

請求書・発注書・作業明細書の記載や日付が、実際の事項/日付に実際に関与した/配達されたものと合致しない；1件の取引セットに対する請求書や発注書が、その他に必要な、より高いレベルの承認を得ずに済むために、複数の請求書や発注書に分割されている。

テラデータの情報、資産、データを事前の承認なしに個人の電子メールアカウントに転送すること、テラデータの電子メールアカウントの代わりに個人の電子メールを使用すること。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム

ソーシャルネットワーキングやインターネットは重要なビジネスツールです。職場での、あるいは会社のテクノロジーを使用しているインターネットやソーシャルネットワークの利用は当社の規範、基本原則、ポリシーに従って行わねばなりません。業務時間内か業務終了後かに関わらず、テラデータの IT (設備、ソフトウェア、ネットワークリソース) あるいは顧客やビジネスパートナーの IT を利用して、攻撃的、性的、差別的、ハラスメント的、ポルノ的、違法、その他の不適切なデータや情報を集めたり配信したりしてはいけません。

ソーシャルメディアでの言動は、あなた自身を映し出すだけでなく、テラデータを映し出すこともあります。当社を代表して発言できるのは、限られた人だけです。あたかもテラデータを代表して話す権限があるように誇張しないでください。 E-mail、テキストメッセージ、インスタントメッセージ、ブログのコメント、ツイッター、ソーシャルネットワークサイトでのやり取り、ボイスメールなどは容易に転送、トレース、復元できるコミュニケーションの記録です。テラデータの IT システム、デバイス、ネットワークなどテラデータに関連したものを利用して、あるいはそれらを通じてやり取りされたすべてのメッセージは、会社のレターヘッドを利用して手紙を作成する際と同様の気づかいをもって作成されねばなりません。

E-mail、インスタントメッセージ、テキストメッセージ、ソーシャルネットワーク上の他の形のメッセージは他者からも見られるものであり、内外の調査の対象となったり法的要求により公開の対象となったりするものであることを前提としてください。これらのリソースを使用したコミュニケーションやドキュメントの内容、またはテラデータに言及したり関与したりする内容に適用し、心に留めておくべき経験則として、「新聞ルール」があります。あなたのコミュニケーションが新聞の一面に掲載され、他の人が何の脈絡もなく読めるようになったとしたら、それはテラデータの基本原則と規範に合致していると受け止められるでしょうか？受け取られないとすれば、もう使用も、送信も、投稿もしないでください。

セキュリティや誠実さ、また当社の IT の事業目的を維持するため、また法令、プライバシー、義務、契約上の義務に従うためには、パスワードや ID コードを保護して、テラデータの顧客やビジネスパートナーの情報システムへの非承認アクセスを防ぐために必要な処置を取る必要があるのです。

テラデータには、テラデータのシステムおよびリソースの利用、ならびに社内のシステム上であるいはシステムを利用して送信や保存を行ったメッセージや文書はいずれも内容を監視する権利があります。これにはユーザーによって消去された情報やテラデータのネットワークを使って送信された情報も含まれます。テラデータ、顧客、ビジネスパートナーなどのコンピューターあるいはネットワーク上で E-mail、インターネット、その他の形式の電子ストレージや通信を利用した場合、(適用法の要求を超える) プライバシー保護を期待することはできません。テラデータは、私たちひとりひとりがテラデータのリソースや顧客やビジネスパートナーのリソースの利用に適用する条件や制限を重んじることを期待し、要求しています。

ソーシャルメディアや従業員情報の守秘義務に関する制約は、いずれも法的に保護された共同行為に携わる従業員の権利を制限することを意図するものではなく、またそう解釈されるべきものではありません。

インサイダー取引

私たちは、テラデータと、テラデータが共に事業を行っているあるいは共に事業を行うつもり企業の企業について、他の人々は知らないかもしれない情報へのアクセスを通常行うことができます。この情報には、投資家の売買やその他社内のセキュリティに影響する可能性のある非公開情報が含まれるかもしれません(テラデータあるいは他社が関わる株式やオプション取引など)。例えば買収、分割、経営陣の変更、財務成績、財務予測などです。

インサイダー取引とは、テラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータと事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する重要な非公開情報を保有しながら証券売買その他のトレードを行う違法行為です。インサイダー取引は、当社の規範のテラデータインサイダー取引ポリシー(企業経営ポリシー **CMP 922** および **CMP 922Q** を参

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

照)と州および連邦政府の証券取引法に対する重大な違反であり、関わった個人は即時解雇や将来的な刑事訴追の対象となりえます。

「チッピング」(内部情報を外部へ漏えいすること)もまた当社のポリシーや規範、証券取引法の違反となり、同様の結果を招きます。チッピングは、例えうっかりでも、重要な非公開情報を誰かに提供し、その人物が情報に従って証券の売買その他のトレード行為を行ったときに起こります。私たちひとりひとりがテラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータが事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する非公開情報を、家族や友人、その他の第三者に対して漏らさないように気を付けねばなりません。

テラデータのインサイダー取引ポリシーの下、一部の社員は制約のあるインサイダーであるとして、一定期間中は自動的に取引から「ブラックアウト(除外)」されます。内部情報を保有していながら、あるいは制約のあるインサイダーでありながら証券取引を行うことについて疑問あるいは懸念がある場合は、テラデータインサイダー取引ポリシーを参照してください。それでもまだ疑いが晴れない場合には、トレードを開始する前に法務組織に、より詳しい指示を仰いでください。

外部企業とのコミュニケーション

当社の評判を効果的に管理・保護するため、テラデータに関与、または関する報道各社とのコミュニケーションはすべてテラデータの広報部を通さねばなりません。同様に、召喚状や政府からの問い合わせおよび捜査依頼への対応はすべてテラデータの法務組織を通さねばなりません。業績や財務成績の公開はすべてテラデータポリシー(CMP 110を参照)に基づいてテラデータ公開委員会が許可したときのみ、許可した方法に従って行われねばなりません。このことで、当社が伝え、もたらす情報が、一貫性があり、正確で、テラデータのポリシーや、公開に関する法令や条例の要件にしっかりと沿ったものになります。

政治的な貢献と慈善活動

テラデータの社員は、自らが選択した地域活動や政治活動に積極的に参加することが推奨されます。しかしながら、いかなる政治活動への参画も勤務時間以外で、かつ自らの所有する資産を用いて行われなければならない、事前にテラデータの法務組織によって特別に許可された場合を除き、会社を代表している、または会社と関連があるかのように振舞ってはなりません。

法律及び規則が定める、法人による政治的貢献や政治活動は、テラデータがビジネスを行う多くの地域ごとに多様で複雑な場合があります。一般的な規則として、私たちはテラデータが選挙の候補者や政党、そしてある政治的な取り組みなどを支持していると受け取られるようなことは、事前にテラデータの法務組織によって文章で承認を受けていない限り、一切行うことはできません。行う場合でも、政治活動の許容範囲は、テラデータの企業の政治活動ポリシー(「CMP 926」を参照)および外部向けの政治活動ポリシーステートメント(<https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Governance/Political-Activity-Policy-Statement>)を参照してください。

会社として、我が社は、私たちの活動する地域のチャリティーや地域活動をサポートする取り組みや方針を採用しています。我が社でも、全社員に勤務時間内にチャリティーや地域貢献活動などのボランティア活動に従事することを紹介・推奨するプログラム(テラデータ・ケア)などを持っています。このような目的に使われるテラデータの資産の量は、重点的に管理、実施されなければなりません。これは私たちが正しい道を進み、対立を避けるのに役立ちます。あなたが会社のリソースや会社の就業時間をチャリティーやコミュニティーのために使うことが、許可されているか、あるいは適切かどうかに関心がある場合には、直属のマネジャーや人事組織の担当者に事前に相談し、指示に従ってください。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

当社のコミットメントを掲げること

テラデータは献身的な個人で構成されるグローバルチームです。私たちは、私たちの専門分野で最高であろうとする献身を通して、お客様のビジネスおよびパートナーシップを獲得します。

私たちの名声を守るため、私たちは、ビジネスを操業しているコミュニティの法に従い、コミュニティの習慣や伝統を尊重しなければなりません。同時に、当社の規範やポリシーに違反するような行為には、仮にその行為が地域の法令によって認められていたとしても、決して従事してはいけません。

贈収賄・汚職に対するゼロ・トレランス(完全非容認)

私たちは、汚職や他の不正のない事業を展開します。世界中に存在するテラデータとその全ての人々とチームは、米連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA)、英贈収賄法、中国の贈賄禁止法、その他の国際的な要件を含む汚職防止、不正防止、マネーロンダリング防止などに関する法令の支配下にあります。これらの法とテラデータポリシーの下で、私たちはいかなる形の賄賂やリベートも申し出たり、渡したり、求めたり、受け取ったりしてはならず、第三者に対し、自分に代わってそのようなことをさせてもいけません。

贈賄は、不適切なビジネス上の利点を得るため、価値のある何かを贈与すること、贈与を申し出ること、あるいは贈与の約束をすることを意味します。賄賂は現金とは限りません。不適切な贈り物や接待、物やサービスを購入するための高額な支払いもまた賄賂と考えられます。リベートとはビジネスの手配に対して、すでに支払った合計金額の中から還元されるものを報酬として支払われるものです。

FCPA やその他の汚職防止や贈賄防止の法令に違反した結果は、支払いをした、あるいは受け取った個人と企業に対する罰金や実刑判決の可能性もある、大変厳しいものです。FCPA は特に(米国以外の)外国公務員との取引に適用されますが、テラデータはすべての商談取引において賄賂を禁止しています。米国内外の政府関係者との取引に適用される賄賂に対する同様の原則が、民間の顧客とビジネスパートナーとの取引にも適用されます。

反汚職および反贈収賄の法に対する遵守を続けるため、価値あるものが公務員に対して提供される前に、特別なルールを遵守しなければなりません。顧客やテラデータのパートナーの中には、全体的または部分的に政府事業体が運営するものもあります。結果的に、ディレクター、マネジャー、従業員、請負業者、その他同事業の責任者が政府の職員であることが考えられます。こうした状況においては、よくある妥当な接待や贈り物は、適用されるコミュニティにおいて慣習的で合法な手段であれば、テラデータのポリシーを遵守しているという条件で、一般的に認められます。金額の上限、事前の承認要件、その他の考慮事項についてのさらなる情報については、テラデータ贈り物と接待ポリシー (CMP 912)、贈り物と接待について具体的に説明しているこの規範の下記セクションを参照するか、または行動する前にテラデータ法務組織に相談してください。

米国以外では、下級政府職員への円滑化を目的とした支払いは、地域の法令あるいはビジネス慣習の観点から認められている国もあります。円滑化を目的とした支払い(「グリース」支払いと呼ばれることもあります)は少額の支払いであり、一般的に現金で、書類作成や承認申請など役所的で単調な事務作業の効率を上げるために行われます。しかしながら、円滑化を目的とした支払いのどこからが贈賄になるのかを見極めるのは難しい問題です。あなたを守るため、また会社を守るためにも、テラデータは円滑化を目的とした支払いについてもすべて禁止しています。円滑化を目的とした支払いが求められた場合は、賄賂やリベートを求められたときと同様に、即座にテラデータの法務組織まで報告してください。

テラデータのグローバル反汚職方針(CMP 904)では、贈収賄、汚職、マネーロンダリングを一切認めないことを表明しています。テラデータ・ピープルは皆このポリシーを遵守せねばなりません。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

テラデータは第三者の適切な注意義務に関する様々なプロセス、ツール、規制も採用しています。これらは適性を判断し、汚職への関与で知られた第三者と取引するのを避けることを目的としています。また、リスクが高く危険な第三者による取引が、適用されるすべての法的要件を遵守して、評価リスクを十分に考慮した上で実施されているということの確認に有用な、特別な分かりやすい予防策が取られていることを確かにくれめます。全テラデータ・ピープルは以上のプロセスやツールを遵守せねばなりません。

汚職防止ガイダンス

質問:部分的に政府事業体が運営する米国以外の電気通信会社あるいは銀行の職員が、もしテラデータが以下のことを行なうならば、保留中の取引機会においてテラデータを優遇すると言ったとします。その職員の息子を採用する。その職員の兄弟の会社に下請け契約を発注する。その職員の姪に利するよう奨学基金に寄付をする。正当ではない出張でその職員に家族が同行するための費用を賄うあなたはどうしたら良いでしょうか？

解答:要求を退け、即座に直属のマネジャーとテラデータの法務組織に報告せねばなりません。あなたや直属のマネジャーはまた、即座にそのことをテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスへも報告せねばなりません。米連邦海外腐敗行為防止法(FCPA)は、このシナリオに登場した電気通信会社や銀行などの米国以外の州政府が運営する会社の職員と取引する米国に拠点を置く企業やそのすべての世界中の子会社に適用します。そうした職員との事業において職員や家族の個人的な利益と引き換えに優遇措置を取引したり求めたり与えたりすることは、現金か現金に相当するものか現物支給(ここでは仕事、下請、奨学基金、家族に利する旅行など)かに関わらず禁じられており、即座に報告されねばなりません。

輸出・輸入コンプライアンス

世界市場にハイテク企業として参画しているテラデータとしては、特に国際貿易や入国管理に関する法律や制限について知っておく必要があります。米国を含むほとんどの国には、製品やテクノロジーの輸出に関して厳しい規制があります。他国の人物に技術的な情報を伝えること(あるいは仮に一時的にあなたと同じ国に配置されている他国の市民や議員に伝えること)は、法律上は輸出と見なされる可能性があります。製品や技術が輸出されているかどうかということは、品目の性質、行き先の国、意図されたエンドユーズやエンドユーザーなど複数の要因によって決定されます。

輸出行為やそうした行為を規制する法律に関する詳しい情報は、当社の輸出コンプライアンスポリシー(CMP 919)を参照するか、法務組織に問い合わせてください。

テラデータは適用すべきすべての輸入に関する法令も遵守せねばなりません。主としてこれらの法律では国内へ何を輸入することができるか、品物のマーク、分類や金額をどうすべきか、関税その他の税金がいくら掛かるのかなどについて管理しています。輸出入に関する規則に違反した場合の罰則は厳しい場合があります。テラデータの輸入手続きに関わる場合には、当社の輸入コンプライアンスポリシー(CMP917)を読んで理解しておいてください。輸入規制に関するガイダンスについては、あなたが所属する組織が指定する輸入コンプライアンス担当者かテラデータの法務組織に相談してください。

テラデータは私たちひとりひとりが適用すべきすべての輸出入規制法令を遵守することを求めています。当社はこうした法律や手続きに加え、貿易制限および制裁を遵守するとともに、贈賄や汚職のリスクを避け、また軽減する狙いで、第三者の適切な注意義務に関するツールや規制を採用しています。私たちは皆、当社の顧客が誰なのか、当社の製品が何に利用されるのか、製品の最終納品地はどこなのかを確実に理解する責任があります。

米国に拠点を置く企業として、当社にはある特定の国や個人、法人との貿易に制限が課されています。米国の貿易政策と矛盾する場合、特定の他国、集団、顧客によるボイコット、禁輸措置、その他の貿易制限を実施する試みに関連した行為も禁じられています(例えばイスラエルとの貿易を制限あるいは禁止しようとするなど)。当社が貿易を行ってよい個人や国に関してや、どのようなボイコットや禁輸行為が禁止されているのかに関して、当社は具体的なポリシー(CMP

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

903 と CMP 919) およびリスト(例、禁止相手リスト)を保有しています。あなたの仕事に適用される可能性のある貿易・経済制裁について質問がある場合は、法務組織にお問い合わせください。

贈り物と接待

贈り物とは、品物、サービス、旅行、宿泊、食事、接待など、贈り主が不在であっても、価値のあるあらゆるものが考えられます。贈り物の習慣は世界各地で多様です。ビジネスにおける贈り物や接待は、顧客やビジネスパートナーとよいビジネス関係を構築するための挨拶です。しかしながら、過剰であったり、贈り物が義務感を生み出す場合、あるいは事業上の決定に不当または不正な影響を与えることを意図した場合には、贈り物は不適切となります。

以下のような贈り物は一般的に許容されます。

金額がわずかである

まれである

公然と提供された

求められていない

現金以外のもの、現金に等しいようなもの(例えば、ローン、株式、商品券といったようなもの)

独立したオブザーバーによって、適切とみなされるもの(例えば、成人向け性的志向の場所、サービス、エンターテインメントを提供したり、料金を支払ったりしてはならない)

他企業のポリシーを遵守しており、それが提供されている現地では合法である

テラデータのポリシー(**CMP912**)における贈り物の最大許容額の基準としては、贈り物が 100 米ドル、接待が 200 米ドルです。これより低い上限が、部署、地域、チームのルールまたは現地法によって適用される場合もあります(例えば政府の役人や、全面的にあるいは部分的に政府が所有する企業の代表者との調達や接待に関わる場合など)。上限を上回る金額については、CMP 912 に規定されている方法で、事前に管理職に承認を求めることができます。

もしあなたが許可されていない、あるいはテラデータのポリシーで設定された金額を上回る贈り物や接待を申し出られた場合は、テラデータのポリシーによって受け取ることができない旨を礼儀正しく説明してください。そうした贈り物を断ることで、申し出た人物を困らせたり不快にさせてしまうという場合には、テラデータを代表してあなたが贈り物を受け取り、即座にマネジャーに報告してください。

あなたは他企業の行動規範とポリシーを常に尊重せねばなりません。贈り物や接待がテラデータのポリシーで許可されていても、受け取る側の規範またはポリシーによってそれが禁止されている場合には、贈り物を申し出てはいけません。断然覚えておくべき最も重要なことは、目的のビジネスについて受取人の意思決定を妥協させるような、または妥協させるように見える申し出、贈与、勧誘、あるいは受領をしてはならないということであり、また、贈り物や接待は、必ず、経営陣に対して透明であり、また、適切な会社の書類に正確に反映し、開示されているようにしなければならない、ということです。たとえ、あなたが自分自身の金銭や、またその他のリソースを使用して、贈り物や接待をお客様の代表者に提供することになっていたとしても、それでもこれらの要件を遵守しなければなりません。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

顧客が政府の担当者である場合は、特に気を付けねばなりません。政府の職員の場合、少しでも価値のあるもの、例えば軽いランチや一杯のコーヒー、あるいは食事やテラデータのロゴが入ったプロモーショングッズなどの粗品ですら、受け取ることが法で禁じられている場合があります。

環境安全衛生コンプライアンス

優れた職場に向けた当社のコミットメントを踏まえ、テラデータは、事業を展開するコミュニティにおける適用すべきすべての環境安全衛生 (EH&S) 関連法令に従っています。私たちは、EH&S (環境安全衛生) ハンドブック、EH&S ポリシー、EH&S 標準的な操作手順、義務的な EH&S 報告事項等、ならびに全社員に対する義務的な EH&S 研修システムを持っています。これらに関する情報は、内部での利用が可能です (CMP 601 を参照してください)。また、その多くは [Teradata.com](https://www.teradata.com) で公開されています。

社会的責任と人権

私たちはまた、環境の持続可能性、人権、その他の環境、社会、ガバナンスに関連した取り組みも積極的に行っています。これには、当社製品に含まれる危険物に関する規制の遵守、電子機器廃棄物のリサイクル、可能な限り排出量を削減する努力、製品規格、紛争鉱物に関する人権尊重の取り組み、サプライヤーへの行動規範遵守の義務付け、および RBA (Responsible Business Alliance: 責任ある企業同盟) の行動規範ならびに国連 (UN) グローバルコンパクトの原則を当社事業に組み込むことなどが含まれます。これらのプログラムやその他のプログラムに関する情報は、<https://www.teradata.com/about-us/environmental-social-governance> で公開されています。

疑問がある場合、あるいは自分が安全でない状態にあるということや、EH&S の法令、ポリシー、標準実施要領、または当社の持続可能性、人権、その他の環境、社会、ガバナンスに関連する取り組みに違反している可能性に気付いた場合は、即座にマネジャー、ファシリティ・マネジャー、法務組織あるいは倫理・コンプライアンスオフィスに報告してください。

人権

テラデータは、以下に記された、国連グローバル・コンパクトの 10 原則に従います。

原則 1: 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである

原則 2: 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

原則 3: 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである

原則 4: 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである

原則 5: 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである

原則 6: 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

原則 7: 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

原則 8: 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである

原則 9: 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

汚職防止

原則 10: 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

イノベーションの追求

イノベーションと業務遂行における敏捷性は、企業としての私たちのベースになっています。私たちは、この基本原則と、当社の最も重要な資産のひとつである所有者情報を保護する必要性とのバランスを保っています。私たちは皆、テラデータの所有者情報を管理するための規則に協力して従う必要があります。私たちの、個人としての、また、会社としての、将来的な達成は、私たちの蓄積されたアセット、知識、トレーニングという基盤の上に築かれています。テラデータの知的財産権を守ることは、本質的に大切なことです。私たちはまた、他者の知的財産権を理解し、尊重しなければならず、また、これらの権利を、意図的であれ、また意図的ではなくとも、侵害してはいけません。

機密情報

情報はテラデータの重要な資産です。情報とは、知的財産その他の保護された情報を含みます。例えば以下のようなものです。

企業秘密、その他の機密情報、特許、商標、著作権

発明、特許出願、技術記録などを含む研究開発

ネットワーク管理情報

ビジネス、マーケティング、サービス計画

顧客および潜在顧客の個人情報

価格設定やその他の見積もり、提案書、契約条項

合併買収候補

未発表の財務計画、データ、報告書、予測

テラデータ認定プロフェッショナルプログラム(TCPP)の試験やテスト資料

文書化された非開示契約あるいは秘密保持契約を対象とした情報

相互連携する当社の職場においては、情報共有が必要な一方、私たち全員がテラデータに所属する情報を保護し、承認を受けていない者の目に晒さないようにして、情報が確実にテラデータの正規のビジネス目的にのみ利用されるようにす

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

る必要があります。また、顧客やビジネスパートナーなど、私たちが取引を行う企業に所属する機密情報も、未承認の開示や利用から保護せねばなりません。

また、当社の仕事の過程で、社員の中には、同僚、顧客、ビジネスパートナーなどによりテラデータに委ねられた個人情報（例えばプライバシー法で保護されている情報）へのアクセス権を持つ者もいます。職務によってそのような種類の情報へのアクセス権を得たときには、注意や敬意を払い、すべての法的要件に従って確実に情報を扱うよう、すべての合理的な予防策を取らねばなりません。利用目的は正規のビジネスのみ、また職務遂行のための必要最低限のアクセスのみに限ってください。この情報は同僚であっても共有できず、適切な承認なしには国外へ送ることもできません。機密情報や個人情報を含むすべての文書やメールには「テラデータ機密情報」というラベルを貼る措置を取ってください。

機密情報には必ずしも印が付いているとは限らないため、利用や開示が適切かどうか迷う場合には、情報を利用または開示する前に、情報保護に関して適用すべきテラデータポリシー（**CMP 1402** や **CMP 204** など）を参照し、直属のマネジャーあるいはテラデータの法務組織に確認してください。

第三者知的財産権

テラデータは、ベンダー、サプライヤー、競合他社の知的財産を尊重し、また、他のパーティーがテラデータの知的財産を尊重することを期待しています。テラデータの社員のそれぞれは、正当にライセンスを取得したソフトウェアやその他の知的財産を使用しなければなりません。当社の社員は、テラデータの調達部ないし IT チームに知らせず、あるいはその承認なしに、ソフトウェアやその他の知的財産をダウンロードしてはいけません。例えば、Microsoft® PowerPoint® あるいはその他のプレゼンテーションといったような、テラデータで制作した資料に、ストックフォト、音楽、オープンソースコードやテキストを使用することは、当社をリスクに晒す可能性があることを自覚する必要があります。プレゼンテーションやその他のメディアに組み込む前に、テラデータやそのベンダーが適切なライセンスや、そうした素材を使用する権利を持っていることを確認しなければなりません。

私たちは、テラデータの知的財産と関連して、無料で手に入れることができるオープンソースのコンピューターコードを使うことがありますしかしライセンスの期間において、関連する（あるいはまったく関係すらしめない）テラデータの知的財産であるオープンソースのコンピューターコードの一部が、パブリックドメインとして公開される可能性を含んでいるのです。これは、仮にオープンソースのコンピューターコードが私たちの商品に特定の方法で埋め込まれていたり、誤用を防ぐために定められた所定の要件を満たさない形で使われたりしている場合において、とりわけ注意の必要なことです。

テラデータは知的財産およびオープンソースコンテンツにおける方針、実例および手続きを採用および適用する。このような活動に関わる社員はこれらを熟知し、かつ遵守しなければならない。知的財産またはオープンソースコンテンツについて質問がある場合は、直属のマネジャーまたはテラデータの法務組織に問い合わせてください。

テラデータ認定プロフェッショナルプログラム

当社はプロフェッショナルとしての認定を獲得するのに必要なリソースを提供してくれます。認定試験に向けた学習を始めたり、またいかなる試験を受けたりする前には、必ず TCPP セキュリティポリシーについて、熟読し理解しておかねばなりません。認定試験の内容は（質問および回答選択肢のいずれも）テラデータの知財の一部であり、いかなる場合でも第三者と共有したり議論したりしてはいけません。個人または法人が私たちの所有する素材をコピー、配布、投稿、受信、ダウンロード、購入、そして販売することは法律で禁じられており、かつテラデータの権利および方針に反するものです。社員はいかなる場合もこのような活動に関わってはいけません。このような資料を目にする機会があった場合、TCPP セキュリティに報告してください（certification.teradata@teradata.com 宛に Eメールしてください）。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

プライバシーとデータの保護

テラデータは、顧客とテラデータの社員から信頼と尊敬を集める企業としてふさわしい評価を得てきました。私たちは、個人情報を含むデータの機密情報、整合性、利用可能性などを保護して、勝ち得た信頼や尊敬を維持し続けなければなりません。私たちひとりひとりが機密データの処理や取扱いに関する一連の関連手続きに従わねばなりません。例えば

正当なテラデータの事業目的および関連する期間のために、許可を受けた者のみアクセスできること(例:法的、合理的観点から必要最低限のテラデータの社員およびビジネスパートナーなど)

パスワードや、パスワードでアクセスできるテクノロジーを厳重に守ること

未確認あるいは未認証者がデータ、ファンド、承認へのアクセスを試みるときに即座に役立つ、プリテキストティングやフィッシングなどという試みに対する衝動を抑えること

当社のデータ管理ポリシーと情報保護基準に従って、あるいは遵守して、慎重なバックアップを行うこと

テラデータまたはその顧客の機密データを個人の電子メール/デバイスに送信しないこと

データセキュリティの問題、違反または侵害に気が付いた場合は、何らかの損傷がそれ以上広がらないように対応し、適用法令あるいは契約の定めに従って届を出すか情報を公開して、その他のデータやプライバシー保護の法令に従う措置をできるだけ迅速に、完全に講じられるよう、どんなに些細なものでもテラデータと顧客に対し即座に報告する義務があります。データセキュリティの侵害を無視するという事は許されません。

私たちは皆、グローバルプライバシーステートメント (<https://www.teradata.com/Privacy>) の規定を読み、理解し、遵守せねばなりません。全テラデータ社員は、最高水準のデータ保護を維持する上で重要な役割を担っています。仕事で接する個人情報の使用方法について疑問がある場合は、テラデータのプライバシーオフィスにお問い合わせください。プライバシーオフィスのガイダンスは、[こちら](#)でも参照できます。

AI(人工知能)

AI は、テラデータの業務において、私たち全員にとつともないチャンスをもたらし、効率を大幅に向上させます。生成 AI などの AI ツールやテクノロジーは、私たちの働き方、データに基づく意思決定、顧客に提供するサービスの向上に革命を起こす可能性を秘めています。ただし、大きな可能性には責任も伴います。テラデータでは、私たちの仕事とビジネス成果の質、生産性、全体的な価値を向上させるために、AI を責任を持って活用することを優先しています。

テラデータで新しい AI ツールを使用する場合はまず上司の承認を得ることだけでなく、テラデータのすべての従業員が、真摯に、注意深く、責任を持って使用することが推奨されます。当社の利用規定と AI の使用方法に関する一般的なガイダンスについては、[こちら](#)を参照してください。AI を使用する場合は必ず、以下の主なリスクに対処する必要があります。

倫理的な使用

データの機密性、ガバナンス、管理

データセキュリティ

セキュリティ慣行

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

所有権と著作権

内容照合

サードパーティのリスク管理

偏見

法務組織は、AI 関連のあらゆる質問に答えます。

業界のトップにのぼること

テラデータでは、もうひとつの当社の基本原則である顧客と市場の重視を実践しています。私たちは積極的に競争していますが、公正かつ適切な姿勢で競争しています。私たちは、公正な競争のための規則やベストプラクティスに従います。私たちは、全てのマーケットセグメントにおいて、ワールドクラスで、かつ最高クラスであることを目指して努力します。同時に、私たちは、個人としても会社としても誠実さが私たちのミッションの基盤であることを忘れてはいけません。

公正に競う

テラデータは、どこで活動しようとも、価値、革新と製品の品質、サービス、人々、そしてビジネス上のパートナーに基づいて成功することをお約束します。私たちは、反トラスト法または公正競争法を含む、競争や企業のグローバル展開の自由化を保護するための法令を遵守します。

公正競争法の元で、私たちは競争を制限しようとするいかなる競合相手とも協定を結ぶことはいたしません。不正協定は必ずしもサインされた契約書であるとは限りません。場合によっては競合間の口頭での約束のようなシンプルな事もあります。競合間におけるいかなる調整や談合も深刻であり、あなたとテラデータを危険にさらします。

競合相手と対話をする場合は、絶対に以下のような内容について提案したり、話し合ったり、指摘したりしてはいけません。

商圏の分配

顧客の分配

顧客に固定または一定の金額を請求すること

サプライヤーに固定または一定の金額を支払うこと

同じまたは類似した割引価格、販売期間、販売条件を提供すること

下請けの再販業者の要求固定または一定の再販価格の請求

特定の顧客やサプライヤーをボイコットすること

特定の入札を誰が落札するかについての合意

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

競合相手との会話の中でももしも次のような話題が持ち上がったときは、あなたは直ちに会話を中断し、可能な限りはっきりと拒絶の意志を伝え、即座にテラデータの法務組織に報告してください。

業界団体や展示会に参加する

業界団体、会議や展示会は関係づくりやビジネスの発展のチャンスとしても素晴らしいものですが、同時に法的や倫理的な問題に直面する可能性もはらんでいます。こうしたイベントに参加する場合は、不正な談合の持ちかけなどを受けないようにも、十分注意を払ってください。もしあなたが公式非公式を問わず、このようなイベントにおいて、競合他社間で反競争に関わる話し合いが行われていることに気が付いた場合、その場を離れて法務組織に連絡してください。

顧客と公正な関係を保つ

テラデータは最上級の顧客貢献とサービスで知られています。この評判を維持するためにも、私たちはお客様と公正な関係を保つ必要があります。

一般的には、公正競争法によってテラデータは取引先の会社を選択することが認められています。しかし、これらの決定は案件ごとに個別になされるべきであり、また競合他社との間に合意や談合が行われては決してなりません。

顧客と公正な関係を保ち、かつ競争法や公正取引法に抵触しないための活動の一環として、私たちは次の事項を決して行いません。

私たちの競合商品やサービスに関して、誤った、根拠のない、または誤解を招く内容を発信したり、または誤った、根拠のない自社商品、サービスとの比較を行うこと

守ることができない、またはそのつもりもない公約や約束をあなたもしくはテラデータが行う事

価格が明らかに異なる類似する商品を、類似する条件で、かつ同一地域で同一期間に同一の販売量でそれらと比較することができる同じ顧客に対して販売すること競合の顧客に対して明白に偏りのある価格提示をし、商品やサービスの客観的な違い、販売時期、販売地域、期間、販売量などに基づいてそれが正当化されない場合、またはそれに近い状態にある時、反競争な価格設定の違反として、違法となる場合があります。

顧客に公正に対応する方法に関して疑問がある場合は、対応する前に法務組織に指示を仰いでください。

市場支配力を乱用しない

公正競争法は、市場支配力を持つ会社が、革新や競争をさせないようにすることも禁じています。市場支配力の乱用を防ぐため、私たちは以下項目をについて避けなければなりません。

自社商品及びサービスの原価割れ販売競合を市場から排除する目的での価格設定

特定の商品及びサービスの購入を限定して商品の追加購入を要求すること

顧客が当社の製品を購入することを約束した場合に、法務組織の事前許可なしに、当社も顧客の製品の購入を約束するという顧客との互惠取引を行うこと

法務組織の事前許可なしに、排他的取引の(独占的な)手配を行うこと

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

ビジネス・インテリジェンス

競合他社の活動に関する正確な情報を得ることは必要であり、あなたの仕事の一部です。このような情報は、倫理的に、正規の情報源から得るようにします。これには一般的に入手可能な文書、アナリスト、出版物、インターネットなどを含みます。

しかしながら、不正な方法で情報を得ることによって競合優位性を得てはいけません。贈賄、スパイ行為、なりすまし、その他の不法あるいは倫理に反する行為など、いかなる手段によっても機密企業情報や企業秘密を盗んではいけません。すなわち、ひとつには、誰かに彼らが他社と結んだ秘密保持契約に違反する情報を共有するよう頼んだり唆したりしてはいけません。何者かが一方的に機密情報を送ってきた場合は、直ちにテラデータの法務組織に連絡してください。

テラデータは公正に、積極的かつ合法的に競争を行います。あなたがテラデータの競合他社の元社員である場合は、現在のテラデータにおける職務と関連のあるあなたの元の従業員向け機密情報または企業秘密を開示または利用してはいけません。同僚やマネジャーからそうした情報の共有を求められた場合も、応じてはいけません。

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

テラデータ倫理ヘルプライン

電話: 24 時間フリーダイヤル **866-455-0993** (米国以外では AT&T ダイレクトのフリーダイヤルを利用)、オンライン: www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。複数の言語が対応可能です。法規制がない場合には、あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータ倫理 E-mail 受信箱

メールアドレス: E&C@teradata.com あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータの法務組織

電子メールの場合、Molly Treese (molly.treese@teradata.com) またはテラデータ法務チームの他のメンバーまでご連絡ください。テラデータの従業員は、Law Hub (<https://teradata.sharepoint.com/sites/LawHub/SitePages/The-Law-Team.aspx>) で法務チームの連絡先一覧をご覧になれます。

テラデータ認証プロフェッショナルプログラム

違法あるいは問題のある教材や、疑わしい試験行為、認定タイトルの表現、ロゴ使用などに関する質問の問い合わせ先メールアドレス: certification.teradata@teradata.com

テラデータ内部監査

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

会計上の不正行為に関するご懸念については、internalaudit.teradata@teradata.com までお問い合わせください。テラデータコーポレートおよび IT セキュリティ

物理的なセキュリティまたは盗難に関する問題については、[Global Teradata Corporate Security \(Teradata.SAFE@teradata.com\)](mailto:Global.Teradata.Corporate.Security@teradata.com) または情報セキュリティの問題については information.security@teradata.com にお問い合わせください。テラデータグローバルポリシー

テラデータの従業員は、当社のグローバルポリシーウェブサイト (<https://teradata.sharepoint.com/teams/policy>) にアクセスすることができ、そこには規範で言及されている各ポリシーが掲載されています。

Teradata.com およびその他のオンラインリソース

Teradata.com では、テラデータのコーポレートガバナンスの方針と実践 ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Governance](https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Governance) を参照)、およびテラデータのその他の企業の社会的責任と持続可能性の方針、実践、および取り組み ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility](https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility) を参照) に関する情報を提供しています。また、テラデータの従業員は、当社の倫理・コンプライアンス Sharepoint サイト (<https://teradata.sharepoint.com/sites/LawHub/SitePages/Ethics-&-Compliance.aspx>) にアクセスすることができます。このサイトには、規範で取り上げられている各トピックに関する参照ガイド、トレーニングビデオ、およびその他の情報が含まれています。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 Teradata.com

Teradata およびテラデータのロゴは、アメリカ合衆国および世界各国におけるテラデータ・コーポレーションや子会社の登録商標です。テラデータは新しい技術や構成要素が利用可能になり次第、継続的に製品を改善します。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。ここに記述されたすべての特徴、機能、操作が世界の地域によっては販売されないことがあります。より詳しい情報については、テラデータ代理店に相談するか、Teradata.com を参照してください。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。

© 2025 Teradata Corporation All Rights Reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください